

長崎西高物理部が大賞

人工衛星など宇宙に関する作品やアイデアを募る第21回衛星設計コンテスト(日本宇宙フォーラムなど主催)のジュニア(高校生)部門の大賞に、県立長崎西高物理部研究グループの「お家で簡単 無重力農園」が輝いた。2位に当たる宇宙科学振興会賞にも同部別グループの「高校生が共同利用できる小型通信衛星」が選ばれた。

コンテストは宇宙開発のと、モーターなどを使い微裾野拡大などが目的。ジュニア部門には全国から計16組の応募があった。

「無重力農園」は宇宙での食料問題を解決しよう

衛星設計コンテスト



衛星設計コンテストジュニア部門で入賞した生徒

＝長崎市、県立長崎西高

「無重力農園」微小重力空間を再現 2位「小型通信衛星」も

類似しており、実用性を証明した。小型化し家庭に普及させる案も発表した。代表発表者の福澤真知子さん(17)は「2年間は「何度も装置が壊れ、やめたいと思ったが(表彰式で)校名が呼ばれ苦労が報われた」と喜びを語った。

「小型通信衛星」は、システム設計をした長野県長野工業高との合同受賞。長崎西高は活用策を考案した。部長で代表発表者の春野絢さん(16)は「2年間は「初出場受賞をいただけとうれしい。今後研究を続け、将来は宇宙に関わる仕事に就きたい」と話した。(山下陽平)

他のメンバーは次の通り。(敬称略)

▽無重力農園 松尾凜汰朗(2年) 森川竣介(同) 鈴木翔(1年) ▽小型通信衛星 太田勝之(2年) 横山晃生(1年)